○は調査予定年度を示している

種　類	計画区	署名	試験地名等	設定年	面積(ha)	国有林名	林小班	樹種	林令	目的	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	前回調査年度
施業指標林	神通川	富山	前更皆伐天然下種 更新施業指標林	S59	8.07	長棟	210よ、た	カンバ・ブナ ミズナラ その他広葉樹	20	伐採前に後継樹を発生・生育させることにより、更新を確実に行うための指標になる林分である。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	H24年度
施業指標林	神通川	富山	ブナ地帯天然更新 施業指標林	S53	10.35	長棟	213ら	ミズナラ・ブナ その他広葉樹	11	ブナ地帯における天然更新確立に向けて、収穫から更新に至る技術体系の検証等の指標になる林分である。											平成15年度で 調査終了
試験地	神通川	富山	千軒平スギ人工林 収穫試験地	S41	1.75	長棟	206に	スギ その他広葉樹	54	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。				○					○		H23年度
試験地	神通川	富山	広河原スギ人工林 収穫試験地	S41	2.91	長棟	207わ	スギ	45	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。				○					○		H23年度
次代検定林	神通川	富山	西山名第2号	H1	1.07	長棟	201え	スギ	22	(遺伝試験林)気象害抵抗性育種事業として、耐雪抵抗性クローンと考えられる精英樹及び、気象害抵抗性(耐雪)として選抜されたクローンとの相互間の人工交配による交配家系の生育結果から、各形質の遺伝様式を検定するための林分である。						○					H20年度
特別母樹林	神通川	富山	立山スギ	S46	80.95	ブナ坂	139 つ、む、ふ	スギ・ブナ その他広葉樹	190	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、樹形・材質が優良な種子を採取する林分である。											不明
遺伝子 保存林	神通川	富山	立山スギ	S53	4.57	長棟	204 る、め、わ	スギ	33	壮林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保全し、遺伝子補給源として活用する。											不明
遺伝子 保存林	神通川	富山	立山スギ	S52	2.00	長棟	214ふ	スギ	34	壮林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保全し、遺伝子補給源として活用する。											不明
巨樹・巨木	神通川	富山	ブナ平立山のスギ	H12	(37.28)	ブナ坂	138ねの一部	ミズナラ ブナ・スギ その他広葉樹	190	「巨樹・巨木に係わる自主的な保全活動の推進について」(平成11年12月20日付け林野業第182号林野庁長官通知)により選定された巨樹・巨木が賦存する林分でいる。											不明
森林施業 モデル林	神通川	富山	水源涵養タイプモデル林	H14	3.95	長棟	210り	スギ	26	公益的機能重視の森林施業の取り組みを、国民にわかりやすくアピールするために設定するモデルである。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	H24年度
施業指標林	千曲川下流	北信	ブナその他 有用広葉樹天然林	S59	5.21	往郷山	61る	ブナ その他広葉樹	23	天然林施業体系の確立のため											
施業指標林	千曲川下流	北信	ブナ天然更新	H5	2.23	往郷山	60り	ブナ その他広葉樹	42	漸伐施業実行成功例											
施業指標林	千曲川下流	北信	カラマツ人工林間伐推進	S60	17.63	霊仙寺山	1038は	カラマツ	53	列状間伐による伐採・搬出経費の節減 19年度以降不明3年毎調査											
試験地	千曲川下流	北信	スギ耐雪性系統別	S45	5.60	鳥甲	109た	スギ	39	豪雪地帯の造林技術の検討の一環として、北陸地方等耐雪性スギ導入の可能性を検討するための調査	○										

試験地	千曲川下流	北信	野沢スギ人工林収穫	H5	1.09	北の入	135の	スギ	59	成長量等のデータ収集　17年度以降不明約5年毎調査											
試験地	千曲川下流	北信	キハダ天然更新	S54	3.42	往郷山	60ち	カンバ・キハダ その他広葉樹	42	ブナ林漸伐試験地内及びこの周辺の皆伐箇所で伐採前に除草剤を散布し、天然更新Ｉ類として、ここに生育したキハダ、カンバの天然更新を期待した林分の生育状況と本数調整による成長の促進を図る。											
試験地	千曲川下流	北信	富士里カラマツ 人工林収穫	S35	1.10	霊仙寺山	1036け	カラマツ	59	林分について材積算定に必要な要素を明らかにするとともに、成長量等のデータ収集 5年毎調査											
試験地	千曲川下流	北信	富士里スギ人工林収穫	S37	1.64	霊仙寺山	1038い	スギ	53	林分について材積算定に必要な要素を明らかにするとともに、成長量等のデータ収集 5年毎調査											
試験地	千曲川下流	北信	富士里カラマツ産地	S33	0.73	霊仙寺山	1038つ	カラマツ	50	産地に差異、諸特性を調査研究し、どの産地のものが最もよいかを適正に判断するデータ収集。 5年毎調査											
試験地	千曲川下流	北信	富士里カラマツ産地	S33	1.32	霊仙寺山	1038う	カラマツ	50	産地に差異、諸特性を調査研究し、どの産地のものが最もよいかを適正に判断するデータ収集。 5年毎調査											
試験地	千曲川下流	北信	富士里カラマツ産地	S33	0.67	霊仙寺山	1038の	カラマツ	50	産地に差異、諸特性を調査研究し、どの産地のものが最もよいかを適正に判断するデータ収集。 5年毎調査											
試験地	千曲川下流	北信	ブナ成長固定試験	S63	0.10	巣鷹山	130ほ内	ブナ・カンバ その他広葉樹	109	ブナ天然林の生長を継続的かつ長期的に渡り調査して、成長予測を行える資料収集のための調査 3年毎調査											
試験地	千曲川下流	北信	ブナ成長固定試験	S63	0.10	往郷山	146ち内	ブナ その他広葉樹	94	ブナ天然林の生長を継続的かつ長期的に渡り調査して、成長予測を行える資料収集のための調査											
試験地	千曲川下流	北信	ブナ成長固定試験	H1	0.10	木島山	152に内	ブナ・カンバ	194	ブナ天然林の生長を継続的かつ長期的に渡り調査して、成長予測を行える資料収集のための調査											
母樹林	千曲川下流	北信	特45－1	S45	0.67	戸隠山	1001ち	スギ・ブナ その他広葉樹	219	特別母樹林（スギ）											
展示林	千曲川下流	北信	スギ耐雪性系統別	H5	1.40	北の入	135な	スギ	39	厳しい自然条件に耐ええるスギの品種を見出すため試験を実施していたが、試験区域内に雪崩常習地が含まれ、系統間の比較が困難になったことから展示林として維持することした。											
展示林	千曲川下流	北信	戸隠森林植物園	S46	64.28	戸隠山	1046 ろ、ほ、 へ01、へ02、 と、ち	カラマツ・モミ カンバ・スギ ミズナラ その他広葉樹	100	湿地帯に自生する天然広葉樹、植物も豊富で、多種多様な野鳥等も生息していることから、展示林に指定した。											
展示林	千曲川下流	北信	カラマツ施肥	H5	0.96	黒姫山	1017へ	カラマツ	49	施肥による省力経営や木材の増収を図る一環として実行し、既に30年以上経過したことから、試験地から展示林へ変更した。											
次代検定林	千曲川下流	北信	関長43号（一般）	H3	0.66	水尾山	136た、め	スギ	23	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H22年度（20）

次代検定林	千曲川下流	北信	関長ホ号（試植）	S39	0.33	戸隠山	1028ね	ハンノキ カンバ	45	コバノヤマハンノキ・カンバを植栽して（実生苗）、環境適応性とその他の特性を調査する。　＜検定林としての調査継続について検討中＞											平成元年
次代検定林	千曲川下流	北信	関長17号（一般）	S49	2.07	飯縄山	1044き	カラマツ	39	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H16年度（30）
次代検定林	千曲川下流	北信	関長26号（地域差）	S54	0.48	霊仙寺山	1035ら	スギ	35	共通の精英樹を用いることによって同じような生産能力を示す範囲を知り，種苗の合理的な配布区域を定めるための林分である。											H20年度（30）
次代検定林	千曲川下流	北信	関長38号（遺伝）	S63	0.57	霊仙寺山	1034へ02	スギ	26	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。											H19年度（20）
遺伝子 保存林	千曲川下流	北信	長遺－8	S44	2.00	往郷山	144ち	ブナ・カンバ その他広葉樹	47	（スギ）											
遺伝子 保存林	千曲川下流	北信	長遺－8	S44	2.50	内山	141う	スギ	40	（スギ）											
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山6号	S33	0.14	二ツ橋	137に	スギ	93	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較して大きく、幹にも特別の欠点がなく、形質がよい。											
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山7号	S33	0.10	二ツ橋	137ほ	スギ	93	設定理由：尾根筋において、直径、樹高ともに比較して大きく、幹に特別の欠点もない。											
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山8号	S33	0.17	二ツ橋	137へ	スギ	93	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較して大きく、幹にも特別の欠点がない。											
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山9号	S33	0.22	水尾山	136そ	スギ	91	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較して大きく、幹にも特別の欠点がない。											
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山10号	S33	0.26	巣鷹山	130ら	スギ	86	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較して大きく、幹にも特別の欠点がない。											
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山11号	S33	0.24	巣鷹山	130む	スギ	86	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較して大きく、幹にも特別の欠点がない。											
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山12号	S40	0.20	池の沢	134ち	スギ	89	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較して大きく、クローネも均斉がとれて小さい。											
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山13号	S40	0.20	池の沢	136る	スギ	86	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較してやや優れているがクローネやや広い。幹形もよく特に欠点がない。											
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山14号	S40	0.10	池の沢	135に	スギ その他広葉樹	86	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較して大きく、クローネの均斉がとれて広くない。											

精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山15号 スギ飯山16号	S40	0.32	水尾山	136つ	スギ	83	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較して大きく、クローネの均斉がとれて広くない。幹形もよく特に欠点がない。												
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山17号 スギ飯山18号	S41	0.40	巣鷹山	130う	スギ	86	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較して著しく大きく、クローネの狭い円錐形で均斉がとれ、幹も通直、完満である。												
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ飯山19号	S41	0.24	巣鷹山	130な	スギ･ブナ カンバ その他広葉樹	86	設定理由：直径、樹高とも周囲に比較して著しく大きく、クローネも均斉がとれた狭い円錐形で、幹も通直であるがネジレがある。												
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	ヒメコマツ飯山106，114，119，120，130～132，134，136，141～144，151号	S42	2.77	内山	141は	アカマツ ヒメコマツ･ブナ その他広葉樹	294													
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ長野2号	S33	0.02	黒姫山	1015ぬ	スギ	103													
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ長野3号	S33	0.07	霊仙寺山	1036せ	スギ	102	設定理由：樹高、直径が周囲に比較して著しく大きく、幹にも特別の欠点がない。												
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ長野5号	S33	0.09	霊仙寺山	1036も	スギ	102	設定理由：樹高、直径が周囲に比較して著しく大きく、幹にも特別の欠点がない。												
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ長野6号	S33	0.12	霊仙寺山	1036す	スギ	102	設定理由：樹高、直径が周囲に比較して著しく大きく、形も良い。												
精英樹 保護林	千曲川下流	北信	スギ長野101号	S34	0.67	戸隠山	1001ち	スギ･ブナ その他広葉樹	219													
巨樹･巨木	千曲川下流	北信	ブナ（森太郎）	H12		大神楽	170り内	ブナ その他広葉樹	144	通達「巨樹･巨木に係わる自主的な保全活動の推進について」により選定（巨樹･巨木が存在する林分）												
森林施業 モデル林	千曲川下流	北信	育成単層林施行 （針広混交林化）	H11		池の沢	135て	スギ	23	公益的機能をより重視した水源涵養機能を高めるため、針広混合林に誘導するモデル林。												
森林施業 モデル林	千曲川下流	北信	育成複層林施業	H11		木島山	153れ	ブナ･カンバ その他広葉樹	18	公益的機能をより重視した森林と人との共生機能を高めるため、美的景観を有する森林の造成に取り組んでいるモデル林。												
森林施業 モデル林	千曲川下流	北信	育成複層林施業 （針広混交林化）	H11		戸隠山	1002え4	ウダイカンバ キハダ その他広葉樹	14	公益的機能をより重視した水源涵養機能を高めるため、天然力を活用して針広混合林に造成するモデル林。												
施業指標林	中部山岳	中信	河鹿沢天然林	S58	4.21	川鹿沢	244や	コメツガ アカマツ カエデ ミズナラ その他広葉樹	26	天然林施業体系の確立のため												
施業指標林	中部山岳	中信	雨飾山天然林	S59	1.90	雨飾山	604わ	ブナ その他広葉樹	26	天然林施業体系の確立のため												（604か）は、間違って居たので604わに訂正

試験地	中部山岳	中信	カラマツ間伐試験地	S44	0.99	御鷹山	247お～ま	カラマツ	58	本数密度調整の合理的方法を見出すための試験					○						H24年度
試験地	中部山岳	中信	白川カラマツ 人工林収穫試験	S44	1.23	奈良井	1546は	カラマツ	76	（森林総研） ５～１０年の周期で総研が調査											（H23年度）
次代検定林	中部山岳	中信	関長6号（一般）	S45	1.02	川鹿沢	242た	アカマツ	44	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H21年度（40） 概況
次代検定林	中部山岳	中信	関長6号（一般）	S45	2.13	川鹿沢	242れ	アカマツ	44	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											
次代検定林	中部山岳	中信	関長24号（一般）	S53	0.35	金松寺山	236ま	スギ	36	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H19年度（30）
次代検定林	中部山岳	中信	関長34号（一般）	S61	0.76	馬羅尾	582よ	ヒノキ	28	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。			○								H17年度（20）
次代検定林	中部山岳	中信	関長35号（一般）	S63	0.33	奈川第1	403と	ウラジロモミ	26	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H19年度（20）
次代検定林	中部山岳	中信	関長36号（一般）	S63	0.49	奈川第1	403ち	チョウセンゴヨウ	26	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H19年度（20）
遺伝子 保護林	中部山岳	中信	長遺－20号	S52	4.04	中房	215へ	カラマツ	33	標識・看板等の設置は確認できず。林道沿いは笹多密地。カラマツの生育状況は普通。											
精英樹 保護林	中部山岳	中信	カラマツ	S32	0.05	上高地	85は	カラマツ	159	松本101号・102号											
精英樹 保護林	中部山岳	中信	ウラジロモミ	S43	0.83	奈川第1	348へ	モミ	86	薮原101号											
精英樹 保護林	中部山岳	中信	ウラジロモミ	S43	0.50	奈川第1	348と	モミ	77	薮原102号・103号											
精英樹 保護林	中部山岳	中信	ウラジロモミ	S43	1.13	奈川第1	387に	モミ・ヒノキ カラマツ	90	薮原104号・105号											
精英樹 保護林	中部山岳	中信	スギ	S41	1.49	福沢	1605り	スギ	100	奈良井1号・2号 1号　胸高直径70cm　樹高(目測)28m 2号　胸高直径86cm　樹高(目測)28m											
特別母樹林	中部山岳	中信	特45－4	S45	1.31	中房	204は	カラマツ その他広葉樹	154	カラマツ 看板の設置を確認。											

特別母樹林	中部山岳	中信	特45－5	S45	1.68	上高地	85ろ	カラマツ・モミ コメツガ その他広葉樹	159	カラマツ											
巨樹・巨木	中部山岳	中信	カラマツ （奈良井のジャンボカラマツ）	H12		奈良井	1554林班内	天然ヒノキ その他針葉樹 その他広葉樹 （巨樹・巨木が存在する林分）	208	通達「巨樹・巨木に係わる自主的な保全活動の推進について」により選定 地元「ジャンボカラマツ保存会」が維持管理を実施											
森林施業 モデル林	中部山岳	中信	育成複層林施業 （針広混交林化）	H11	3.88	川鹿沢	244せ	ミズナラ カラマツ コメツガ アカマツ	26	国土保全タイプ											
施業指標林	千曲川上流	東信	亜高山針葉樹林帯漸伐	S49	80.74 (64.39)	金峰山	53よ、54に ほ・と・る・わ	コメツガ カンバ アオモリトドマツ シラベ	36	天然林施業体系の確立のため											
施業指標林	千曲川上流	東信	亜高山針葉樹林帯漸伐	S50	29.67 (11.47)	八ヶ嶽	71ろ・と	コメツガ・シラベ アオモリトドマツ その他広葉樹	28	天然林施業体系の確立のため											
施業指標林	千曲川上流	東信	広葉樹天然林	S59	1.81	大平山	2141は	その他広葉樹	17	天然林施業体系の確立のため											
施業指標林	千曲川上流	東信	アカマツ広葉樹複層林	S59	19.17 (5.00)	屋敷入奥	100い	アカマツ ミズナラ・クリ その他広葉樹	56	天然林施業体系の確立のため											
施業指標林	千曲川上流	東信	カラマツ人工林間伐推進	S60	7.97	大曲	108り	カラマツ	56	市場価格の動向をみて高価格材を（伐採搬出経費削減を図るための）選木											
試験地	千曲川上流	東信	管平カラマツ A種収穫試験	S11	0.88	菅平	1073ろ	カラマツ	89	（森総研）											
試験地	千曲川上流	東信	八ヶ岳天然幼齢林保育	S11	0.44	八ヶ嶽	73れ	コメツガ・シラベ アオモリトドマツ その他広葉樹	81	（森総研）											
試験地	千曲川上流	東信	大曲カラマツA収穫	S15	1.09	大曲	105に	カラマツ その他広葉樹	91	（森総研）											
試験地	千曲川上流	東信	アカマツ産地別植栽比較	S27	8.45	浅間山	2019ほ	アカマツ	72												
試験地	千曲川上流	東信	高峰アカマツ人工林	S34	1.29	高峰	2005ぬ	アカマツ	55	（森総研）											
試験地	千曲川上流	東信	浅間カラマツ産地別	S34	4.14	浅間山	2018は	カラマツ ストローブマツ	53	（森総研）											
試験地	千曲川上流	東信	カラマツクローン	S35	0.76	浅間山	2018い	カラマツ	49												

試験地	千曲川上流	東信	和カラマツ産地	S37	1.10	和山	1024わ	カラマツ	46	（森総研）											
試験地	千曲川上流	東信	八ヶ岳帯状更新	S40	2.37	八ヶ嶽	80に 81な	コメツガ・シラベ カンバ・トウヒ アオモリトドマツ	214	（森総研）											
試験地	千曲川上流	東信	川上帯状更新	S40	7.47	金峰山	52ち	シラベ・コメツガ カンバ	29	（森総研）											
試験地	千曲川上流	東信	カラマツ間伐	S43	1.10	屋敷入奥	98な	カラマツ	50	本数密度調整の合理的方法を見出すための試験		○									
試験地	千曲川上流	東信	カラマツ･ヒノキ二段林	S47	2.25	傍陽山	1065か	ヒノキ・カラマツ アカマツ	43	カラマツ人工林を列状に伐採し、跡地にヒノキを植栽し二段林を造成して成長状況を調査する			○								
試験地	千曲川上流	東信	ヒノキ人工林天然更新	S54	34.96	奈良本山	1180た他	ヒノキ・カラマツ	93	（奈良本山実験林）人工林の天然更新、小面積伐採、人工造林と大径材生産の施業実験				○							
試験地	千曲川上流	東信	広葉樹間伐	S58	1.62	屋敷入奥	97ろ	ミズナラ・クリ カンバ その他広葉樹	61	若齢広葉樹林分の密度管理基準を求めるための調査、対象林分は主として薪炭林施業跡地に生林するナラを主体とした広葉樹の林分に設定				○							
展示林	千曲川上流	東信	浅間ヒノキカラマツ二段林	H5	9.41	浅間山	2025 と01、と02	ヒノキ・カラマツ	115	高齢級人工林											
展示林	千曲川上流	東信	浅間カラマツ優良人工林	H5	1.25	浅間山	2021と	カラマツ	113	高齢級人工林 (生育良好な高齢人工林で、旧学術参考林として管理していたが第一次施業管理計画（平成5年4月1日で展示林に変更した。))											
展示林	千曲川上流	東信	浅間山カラマツ 精英樹クローン	S59	37.54	浅間山	2044つ・ね 2045る・た	カラマツ アカマツ	46	現在のカラマツ精英樹クローン展示林は、昭和36年設定当初は「清万カラマツ採種園」として、全国各地の精英樹の接木苗が植林され81型（9×9）を繰り返す大面積で、良く管理され東洋一を誇っていた。しかし、カラマツの需要の低迷と種子の凶作が続き、本来の採種園としての機能が低下したことから、採園の面積を縮小し、残った部分をカラマツ採種園補充用とし、展示											
次代検定林	千曲川上流	東信	関長5号（一般）	S45	2.10	浅間山	2047は	アカマツ	44	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H21年度(40) 概況
次代検定林	千曲川上流	東信	関長11号（一般）	S49	2.50	大門山	1109わ・よ	カラマツ	40	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H15年度(30)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長28号（一般）	S54	1.26	大曲	105り	カラマツ	34	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H24年度(30)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長30号（一般）	S56	1.35	立科	116れ	カラマツ	33	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H12年度(20)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長39号（一般）	S63	0.92	傍陽山	1065ね	カラマツ	26	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H19年度(20)

次代検定林	千曲川上流	東信	関長42号（一般）	H2	1.42	屋敷入奥	96つ、ね	カラマツ	24	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H21年度(20)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長44号（一般）	H3	1.36	浅間山	2055 い01、い02	カラマツ	23	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H22年度(20)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長45号（一般）	H3	1.33	大門山	1105に	カラマツ	23	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H22年度(20)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長イ号（試植）	S37	2.43	浅間山	2021に	カラマツ	46	カラマツ落葉病抵抗性試験。												H13年度(40)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長ヌ号（試植）	S40	3.26	浅間山	2021ぬ	カラマツ アカマツ	43	外国マツ、カラマツ等の特性を調査する。												H11年度(35)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長ル号（試植）	S41	6.65	浅間山	2021そ	カラマツ アカマツ	42	マツ属、カラマツ等の特性を調査する。												－
次代検定林	千曲川上流	東信	関長タ号（試植）	S44	2.79	浅間山	2022ぬ	カラマツ	46	アカマツ・ストローブ・バンクス等の特性を調査する。												H10年度(30)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長ツ号（試植）	S50	3.54	浅間山	2050か	カラマツ	33	カラマツ落葉病抵抗性試験。												H15年度(35)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長ネ号（試植）	S50	6.86	香坂山	2152ぬ	カラマツ	33	カラマツ落葉病抵抗性試験。												H15年度(35)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長ナ号（試植）	S51	1.74	長倉山	2123ぬ	カラマツ	32	カラマツ落葉病抵抗性試験。												H15年度(35)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長ラ号（試植）	S53	0.65	榊山	10う	ストローブマツ	30	ストローブマツ国際共同産地試験。					○							H19年度(30)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長7号（遺伝）	S46	2.06	高峰	2006は	アカマツ	43	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。												H12年度(30)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長23号（遺伝）	S52	2.85	浅間山	2047り	カラマツ	37	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。												H18年度(30)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長25号（遺伝）	S53	1.77	高峰	2003ろ	カラマツ	36	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。												H19年度(30)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長29号（遺伝）	S55	0.79	傍陽山	1052ろ、は	カラマツ	34	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。												H21年度(30)

次代検定林	千曲川上流	東信	関長31号（遺伝）	S56	1.13	立科	116た	カラマツ	33	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。											H23年度(31)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長32号（遺伝）	S57	0.38	浅間山	2045か	アカマツ	32	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。											H18年度(25) 概況
次代検定林	千曲川上流	東信	関長33号（遺伝）	S58	0.64	浅間山	2045よ	カラマツ	31	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。											H19年度(25)
次代検定林	千曲川上流	東信	関長46号（遺伝）	H3	0.86	和田山	1147や	カラマツ	23	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。											H22年度(20)
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	長遺1号	S40	4.22	浅間山	2036た	アカマツ	43	霧上の松アカマツ											
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	長遺2号	S42	5.60	浅間山	2025る・わ	カラマツ	41	金峰山系カラマツ											
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	長遺3号	S43	3.54	浅間山	2025ぬ	アカマツ	40	浅間系アカマツ											
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	長遺4号	S43	3.28	浅間山	2025よ	アカマツ	40	前掛係アカマツ											
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	長遺5号	S43	3.60	浅間山	2066へ	カラマツ	40	八ヶ岳系カラマツ											
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	長遺7号	S40	4.56	大門山	1116る・わ	カラマツ	43	富士山係カラマツ											
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	長遺15号	S46	2.06	角間山	1041と	カラマツ	37	久々野産カラマツ											
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	長遺16号	S46	1.87	角間山	1041り	カラマツ	37	古川産カラマツ											
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	長遺17号	S46	2.03	八ヶ嶽	86る	モミ	37	木曽山係大寄合産ウラジロモミ											
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	長遺18号	S47	3.66	榊山	8ろ	アカマツ	36	開田マツ・アカマツ											
遺伝子 保存林	千曲川上流	東信	（9育林第464号）	H3	0.55	浅間山	2027ほ	カラマツ	10	カラマツ1・2・3系統											

精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田1号	S33	0.10	大曲	106に	カラマツ	97												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田4号	S33	0.10	大曲	107へ	カラマツ	93												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田5・6号	S33	0.25	大曲	105ほ	カラマツ	91												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田7号	S33	0.10	大曲	105へ	カラマツ	91												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田8号	S33	0.10	大曲	107ほ	カラマツ	95												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田9号	S33	0.51	屋敷入奥	99ち	カラマツ	101												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田11号・12号	S33	0.83	屋敷入奥	99に	カラマツ	101												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田101号	S33	0.12	八ヶ嶽	84ろ	カラマツ・カンバ その他広葉樹	110												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田104号	S33	0.24	八ヶ嶽	73の	シベラ・カラマツ	97												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田107号	S33	0.07	八ヶ嶽	73そ	カラマツ	88												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田108号	S44	0.23	金峰山	52は	カラマツ	83												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田109号	S44	0.40	金峰山	53い	カラマツ	83												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ臼田110号	S44	0.56	金峰山	54は	カラマツ コメツガ ウダイカンバ	78												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	シラベ臼田　101号～109号	S44	0.86	八ヶ嶽	73ら	コメツガ アオモリトドマツ シラベ・カンバ	194												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	シラベ臼田　110号～111号	S44	0.39	八ヶ嶽	73む	コメツガ アオモリトドマツ シラベ・カンバ	194												

精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ上田1号	S33	0.13	和山	1026り	カラマツ	96												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ上田2号	S33	0.98	新張山	1016ち	カラマツ	105												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ上田3号	S33	0.54	菅平	1074に	カラマツ	91												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ上田6号	S33	0.55	菅平	1074よ	カラマツ	91												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ上田7号	S33	0.42	大門山	1119に	カラマツ	105												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ上田8号	S35	0.27	和田山	1141ね	カラマツ	90												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ上田9号	S35	0.32	和田山	1143よ	カラマツ	78												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ上田101号	S36	0.20	北山	1004ち	カラマツ	129												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ上田102号	S36	0.10	北山	1004り	カラマツ	129												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ岩村田20号	S33	0.18	浅間山	2050ち	カラマツ	81												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ岩村田30号	S33	0.64	浅間山	2050と	カラマツ	81												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ岩村田37号	S33	0.10	浅間山	2055り	カラマツ	80												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ岩村田38号	S33	0.10	浅間山	2055ぬ	カラマツ	80												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ岩村田39号	S33	0.10	浅間山	2055る	カラマツ	80												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ岩村田44号	S33	0.10	浅間山	2055わ	カラマツ	80												

精英樹 保護林	千曲川上流	東信	カラマツ岩村田48号	S33	0.25	浅間山	2019ぬ	カラマツ	73												
精英樹 保護林	千曲川上流	東信	アカマツ岩村田102号	S35	0.08	浅間山	2044よ	アカマツ	91												
特別母樹林	千曲川上流	東信	特45－3	S46	5.32	浅間山	2030は・つ	霧上の松天然 アカマツ その他広葉樹	99												
特別母樹林	千曲川上流	東信	特45－6	S46	5.56	八ヶ嶽	83む	八ヶ岳系天然 カラマツ・カンバ	154												
特別母樹林	千曲川上流	東信	特45－7	S46	2.63	八ヶ嶽	84ぬ・わ	カラマツ	70												
特別母樹林	千曲川上流	東信	特45－10	S46	10.74	北山	1004 に・ち・り	カラマツ・コメツガ	129												
施業指標林	伊那谷	南信	金沢山天然林	S59	4.12	金沢山	1408に	ヒノキ	78	天然林施業体系の確立のため											
施業指標林	伊那谷	南信	西風巻広葉樹天然林	S59	7.82	浦	38ち 39り	ブナ・モミ サワラ サワグルミ コメツガ その他広葉樹	26	天然林施業体系の確立のため											
施業指標林	伊那谷	南信	茶臼山天然林	S59	3.11	大河原	2066ほ	シラベ・コメツガ カンバ・トウヒ	50	天然林施業体系の確立のため											
施業指標林	伊那谷	南信	カラマツ人工林間伐推進	S60	2.83	手良沢山	311は	カラマツ	54	列状間伐による伐採・搬出経費の削減											
試験地	伊那谷	南信	金沢カラマツ 人工林収穫試験	S36	1.00	金沢山	1404は	カラマツ	61	カラマツ人工林の構造と成長											
試験地	伊那谷	南信	カラマツ本数密度調節試験	S45	2.34	黒河内	254い	カラマツ	62	本数密度調整の合理的方法を見出すための試験	○										
試験地	伊那谷	南信	亜高山性樹種の 本数調整試験	S45	0.45	冷山	1247ぬ	コメツガ・シラベ アオモリトドマツ	49	天然更新し、閉塞した過密林分の本数調節による単木成長の促進を図り、 伐期短縮の可能性を検討する				○							
試験地	伊那谷	南信	エゾマツカサアブラ 抵抗性検定試験	S45	0.50	西獄	1329は	トウヒ	43	エゾマツカサアブラの生態と防除											
次代検定林	伊那谷	南信	関長19号（一般）	S50	1.12	東俣	1101は	ヒノキ	39	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H16年度(30)

次代検定林	伊那谷	南信	関長14号（一般）	S49	2.10	大河原	2055 ほ、へ、り	カラマツ	40	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H15年度(30)
次代検定林	伊那谷	南信	関長15号（一般）	S49	1.50	大乗坊山	3243は、に	ヒノキ	40	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H15年度(30)
遺伝子 保存林	伊那谷	南信	長遺9号	S44	0.50	西獄	1329ろ	トウヒ	43	ヤツガタケトウヒ											
遺伝子 保存林	伊那谷	南信	長遺10号	S44	0.50	西獄	1329は	トウヒ	43	ヒメマツハダ											
遺伝子 保存林	伊那谷	南信	長遺22号	S52	1.50	大河原	2058わ	カラマツ	35	カラマツ											
遺伝子 保存林	伊那谷	南信	長遺23号	S53	1.50	黒河内	228ち	カラマツ	34	カラマツ											
精英樹 保護林	伊那谷	南信	カラマツ4号	S32	0.63	冷山	1242ほ	カラマツ	95	諏訪4号											
精英樹 保護林	伊那谷	南信	カラマツ5号	S32	0.13	冷山	1248と	カラマツ	94	諏訪5号											
精英樹 保護林	伊那谷	南信	カラマツ10号	S32	0.44	金沢山	1425ろ 1426ろ	カラマツ	114	諏訪10号											
精英樹 保護林	伊那谷	南信	カラマツ11号	S32	0.45	金沢山	1430に	カラマツ アカマツ その他広葉樹	85	諏訪11号											
精英樹 保護林	伊那谷	南信	カラマツ12号	S32	0.38	金沢山	1421る 1427は	カラマツ その他広葉樹	97	諏訪12号											
精英樹 保護林	伊那谷	南信	カラマツ13号	S32	0.30	金沢山	1421ぬ 1427に	カラマツ アカマツ その他広葉樹	97	諏訪13号											
精英樹 保護林	伊那谷	南信	カラマツ15号	S32	0.56	横川	1067ほ	カラマツ	90	諏訪15号											
精英樹 保護林	伊那谷	南信	ヒノキ1号	S33	0.10	手良沢山	301ほ	ヒノキ	89	伊那1号											
精英樹 保護林	伊那谷	南信	ウラジロモミ 102号、103号、104号	S40	0.10	大河原	2081へ	サワラ・モミ ヒノキ	78	駒ヶ岳102・103・104号											

精英樹 保護林	伊那谷	南信	スギ2号	S40	0.31	陣ヶ沢	3211へ	ヒノキ・スギ	99	飯田2号											
精英樹 保護林	伊那谷	南信	スギ3号	S40	0.06	陣ヶ沢	3214と	ヒノキ・スギ	99	飯田3号											
特別母樹林	伊那谷	南信	特45－11	S46	11.62	編笠山	1319よ、る	カラマツ アカマツ･カンバ ミズナラ･シラベ	114	カラマツ											
特別母樹林	伊那谷	南信	特48－14	S48	14.54	黒河内	256へ 257ろ	カラマツ･カンバ コメツガ･シラベ その他広葉樹	204	カラマツ											
特別母樹林	伊那谷	南信	特48－13	S48	2.70	黒川	2113ほ	トウヒ･コメツガ カラマツ･モミ その他広葉樹	219	カラマツ											
施業指標林	木曽谷	木曽	ポドソル地帯における ヒノキ天然更新	S59	2.76	王滝	2201ろ	ネズコ･サワラ ヒメコマツ･モミ ミズメ･天然ヒノキ	26	天然林施業体系の確立のため											
試験地	木曽谷	木曽	三浦実験林	S41	418.76	三浦	2626～2637 2639～2641	ヒノキ・スギ カラマツ･トウヒ 天然ヒノキ その他針葉樹 その他広葉樹	83～ 304	木曽谷の湿性及び乾性ポドソル地帯における更新成績は極めて不良であることから、これらの地帯における森林の経済的･公益的機能を保持するための実践的育林技術の確立を目的として設置。	○	○	○	○	○						
試験地	木曽谷	木曽	上松ヒノキ天然林の 漸伐施業試験	S47	7.59	小川入	157い1～い3	天然ヒノキ・ヒバ	37	ポトゾル地帯の天然性稚樹発芽時から土壌えの順応を図り、かつ、急激な環境変化と森林形態を維持する新しい施業として漸伐作業の変形作業を考え実験する。		○									
試験地	木曽谷	木曽	赤沢ヒノキ施業試験	S58	11.84	小川入	100は1～は 3	天然ヒノキ・ヒバ ヒメコマツ サワラ	304	赤沢ヒノキ林の永続を図る為、後継ヒノキ稚樹を育成する天然更新を狙いとして、下層ヒバの処理、上木の伐採及びヒノキ稚樹の保育等の施業方法を明らかにすることを目的として設定。											
試験地	木曽谷	木曽	助六実験林	H1	89.18	王滝	2156い、に 2157い～へ 2179い～は	サワラ ヒメコマツ ネズコ･トウヒ 天然ヒノキ	264	木曽谷地域の湿性ポルゾル土壌を中心とするせき悪土壌地帯において、ヒノキ天然林の更新施業体系の確立を目指した事業的規模の実験を行い、ひいては木曽ヒノキを生産目標とする施業体系の確立することを目的として設置。	○	○	○	○	○						
試験地	木曽谷	木曽	カンバ天然更新試験	H4	2.62	三浦	2670に 2671ほ	カンバ･カラマツ その他広葉樹	46 47	木曽谷西部の風倒被害等跡地に発生したカンバ等の更新状況、成長状況を調査する。	○										
試験地	木曽谷	木曽	カラマツ産地 試験新高試験	S33	2.12	新高	804ろ	カラマツ	53	(森林総研)異郷土樹種の導入											
試験地	木曽谷	木曽	成長予測の固定標準地	S25	0.32	王滝	2019は	サワラ コウヤマキ 天然ヒノキ	154	(森林総研)林分推定成長予測											
試験地	木曽谷	木曽	成長予測の固定標準地	S31	5.00	小川入	101ろ	天然ヒノキ・ヒバ	294	(森林総研)林分推定成長予測											
試験地	木曽谷	木曽	王滝ヒノキA種収穫試験	S29	0.69	御岳	2302は	ヒノキ	83	(森林総研)ヒノキ人工林の構造											

試験地	木曽谷	南木曽支署	蘭ヒノキA種収穫試験	S29	0.83	南蘭	611ろ	ヒノキ	78	(森林総研)ヒノキ人工林の構造												
試験地	木曽谷	木曽	赤沢ヒノキ人工林収穫試験	S38	1.20	小川入	78わ	ヒノキ	55	(森林総研)ヒノキ人工林の構造と成長												
試験地	木曽谷	木曽	王滝天然更新試験	S44	3.96	御岳	2438は 2445は 2446は	モミ・カンバ コメツガ・トウヒ サワラ・シラベ その他広葉樹	234	(森林総研)ブナ及び亜高山帯の更新保育施業の体系化												
次代検定林	木曽谷	木曽	関長2号(一般)	S39	0.84	小川入	95へ	ヒノキ	50	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H15年度(40)
次代検定林	木曽谷	木曽	関長18号(一般)	S49	1.23	新高	801は、に、ほ	カラマツ	39	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H16年度(30)
次代検定林	木曽谷	南木曽支署	関長16号(一般)	S49	2.04	南蘭	624に	ヒノキ	40	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H15年度(30)
次代検定林	木曽谷	南木曽支署	関長20号(一般)	S50	1.32	阿寺	1233 ほ、へ、と	ヒノキ	39	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H16年度(30)
次代検定林	木曽谷	南木曽支署	関長40号(遺伝)	H1	0.26	北蘭	591は、と、る	ヒノキ	25	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。						○						H20年度(20)
次代検定林	木曽谷	木曽	関長47号(集団林)	H10	0.72	小川入	197ほ	ヒノキ	16	成長，材質，諸害への抵抗性等について優れた精英樹同士による人工交雑によって得た種子で造成し，第二世代品種を選抜するための林分である。					○							H24年度(15)
次代検定林	木曽谷	南木曽支署	関長48号(集団林)	H17	0.64	阿寺	1232る	スギ	9	成長，材質，諸害への抵抗性等について優れた精英樹同士による人工交雑によって得た種子で造成し，第二世代品種を選抜するための林分である。		○					○					H21年度(5)
次代検定林	木曽谷	南木曽支署	関長50号(集団林)	H21	0.37	柿其	104ほ	ヒノキ	5	成長，材質，諸害への抵抗性等について優れた精英樹同士による人工交雑によって得た種子で造成し，第二世代品種を選抜するための林分である。		○					○					定期調査の林齢に達していないため未実施
次代検定林	木曽谷	南木曽支署	関長49号(集団林)	H21	0.31	柿其	104へ	スギ	5	改植を行ったため1年調査年次がずれる。 成長，材質，諸害への抵抗性等について優れた精英樹同士による人工交雑によって得た種子で造成し，第二世代品種を選抜するための林分である。	○					○						定期調査の林齢に達していないため未実施
次代検定林	木曽谷	木曽	関長ソ号(試植)	S44	0.40	御岳	2392へ	ヒノキ	42	ヒノキの特性を調査する。 ＜検定林としての調査継続について検討中＞												－
遺伝子検定林	木曽谷	木曽	長遺11号	S44	2.45	御岳	2392ほ	ヒノキ	42	ヒノキ												
遺伝子検定林	木曽谷	木曽	長遺6号	S44	3.25	三浦	2516ぬ	ヒノキ	43	ヒノキ												

精英樹 保護林	木曽谷	木曽	上松ヒノキ5号	S32	0.10	小川入	40ほ	ヒノキ	102												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	上松ヒノキ3号	S32	0.10	小川入	40へ	ヒノキ	102												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	上松ヒノキ1号	S32	0.10	小川入	74ろ	ヒノキ	91												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	上松ヒノキ2号	S32	0.10	小川入	136ほ	ヒノキ	107												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	上松ヒノキ4号	S32	0.10	小川入	140は	ヒノキ	105												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	上松ヒノキ7号	S32	0.10	駒ヶ岳	302に	ヒノキ	99												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	上松ヒノキ6号	S32	0.10	駒ヶ岳	306ろ	ヒノキ	95												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	上松ヒノキ9号	S32	0.10	駒ヶ岳	312と	ヒノキ	83												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	上松ヒノキ10号	S32	0.10	駒ヶ岳	316ろ	ヒノキ	87												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	福島アカマツ104号･105号	S32	0.17	末川	585に	サワラ･アカマツ モミ･天然ヒノキ その他広葉樹	96												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	福島アカマツ103号･108号	S32	0.25	末川	585ほ	サワラ･アカマツ モミ･天然ヒノキ その他広葉樹	96												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	福島アカマツ101号	S32	0.10	末川	585へ	サワラ･アカマツ モミ･天然ヒノキ その他広葉樹	96												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	福島アカマツ106号	S32	0.09	黒沢御岳	841と	ミズナラ･サワラ カラマツ･モミ アカマツ その他広葉樹	204												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	福島アカマツ107号	S32	0.09	黒沢御岳	841ぬ	ミズナラ･サワラ カラマツ･モミ アカマツ その他広葉樹	204												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	福島カラマツ101号･102号	S32	0.20	新高	803ほ	カラマツ	95												

精英樹 保護林	木曽谷	木曽	福島カラマツ103号	S32	0.10	新高	803へ	カラマツ	95												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	王滝サワラ101号	S33	0.10	王滝	2019に	サワラ 天然ヒノキ	154												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	王滝ヒノキ103号	S33	0.30	王滝	2032は	サワラ 天然ヒノキ	294												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	王滝ヒノキ102号	S33	0.17	王滝	2033に	サワラ 天然ヒノキ	294												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	王滝ヒノキ101号	S33	0.10	王滝	2034に	サワラ 天然ヒノキ	294												
精英樹 保護林	木曽谷	木曽	王滝サワラ102号	S33	0.10	王滝	2039に	サワラ 天然ヒノキ	294												
精英樹 保護林	木曽谷	南木曽支署	野尻ヒノキ1号	S32	0.10	阿寺	1037り	ヒノキ	91	直径、樹高共に周囲に比較して大きく、クローネは割合に小さい。幹に特別欠点はない。											
精英樹 保護林	木曽谷	南木曽支署	野尻ヒノキ3号	S32	0.10	阿寺	1086ろ	ヒノキ	94	胸高直径、樹高が周囲木に比較して大。樹幹に欠点なし。											
精英樹 保護林	木曽谷	南木曽支署	野尻ヒノキ5号	S32	0.10	阿寺	1085ろ	ヒノキ	92	胸高直径、樹高共周囲木に比べ大。樹幹に欠点なし。											
精英樹 保護林	木曽谷	南木曽支署	野尻ヒノキ6号	S32	0.10	阿寺	1085は	ヒノキ	92	胸高直径、樹高共周囲木に比較して大きい。											
精英樹 保護林	木曽谷	南木曽支署	野尻ヒノキ7号	S32	0.10	阿寺	1085に	ヒノキ	92	直径、樹高共大。樹幹に欠点なし。											
精英樹 保護林	木曽谷	南木曽支署	妻籠ヒノキ5号	S34	0.10	南薗	612ろ	ヒノキ	90	直径は周囲に比較して著しく大きく、樹高も大きい。幹にも特別の欠点はない。											
精英樹 保護林	木曽谷	南木曽支署	妻籠ヒノキ2号	S34	0.70	南薗	634は	ヒノキ	101	直径は周囲に比較して著しく大きく、樹高の高い。幹にも特別の欠点はない。											
特別母樹林	木曽谷	木曽	特45－2	S45	48.80	黒沢御岳	866い 867い 872い 873い	サワラ･カンバ ミズナラ 天然ヒノキ その他広葉樹	294	ヒノキ											
展示林	木曽谷	木曽	小川入ヒノキ	S52	1.00	小川入	2930へ、ち	ヒノキ	34	ヒノキ											

試験地	木曽谷	南木曽支署	蘭ヒノキA種収穫試験	S29	0.83	南蘭	611ろ	ヒノキ	80	(森林総研)ヒノキ人工林の構造											
展示林	木曽谷	南木曽支署	阿寺ヒノキ優良人工林	S56	0.20	阿寺	1083へ	ヒノキ	119	人工林ヒノキ優良林分											
展示林	木曽谷	南木曽支署	天王洞ヒノキ高齢級 優良人工林	H4	0.84	天王洞	1253は	ヒノキ	126	人工ヒノキ高齢級優良林分　中部森林管理局管内のヒノキ人工林で最も古い人工林であり、成長も良好である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	複層林施業指標林	H4	3.40	立平	2224は	ヒノキ･カラマツ	51	列状間伐及び複層伐、植栽により樹種転換を図りつつ複層林造成を行うための指標とする林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	間伐推進施業指標林	S61	2.15	胡桃島	1232へ	ヒノキ･カラマツ	53	市場価値の高い材木を収穫する間伐及び残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術向上の指標になる林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	間伐推進施業指標林	S61	0.96	大木場	2220ほ	スギ	63	市場価値の高い材木を収穫する間伐及び残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術向上の指標になる林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	広葉樹施業指標林	H4	9.42	上小鳥	3002ち	ブナ その他針葉樹 その他広葉樹	73	壮齢広葉樹林において密度調整等の保育管理を実施して、有用広葉樹施業の指標とする林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	広葉樹施業指標林	H4	9.16	大原	11り	ミズナラ･クリ その他針葉樹 その他広葉樹	78	壮齢広葉樹林において密度調整等の保育管理を実施して、有用広葉樹施業の指標とする林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	広葉樹施業指標林	H4	1.98	野麦	1138か	カンバ･トウヒ コメツガ ウラジロモミ その他針葉樹 その他広葉樹	212	壮齢広葉樹林において密度調整等の保育管理を実施して、有用広葉樹施業の指標とする林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	前更皆伐天然下種更新 施業指標林	S61	5.50	野麦	1138か	カンバ･トウヒ コメツガ ウラジロモミ その他針葉樹 その他広葉樹	216	伐採前に後継樹を発生･生育させることにより、更新を確実に行うための指標になる林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	前更皆伐天然下種更新 施業指標林	S59	8.38	原山本谷横谷	3170に 3137り	ブナ･ミズナラ 天然ヒノキ その他針葉樹 その他広葉樹	15	伐採前に後継樹を発生･生育させることにより、更新を確実に行うための指標になる林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	前更皆伐天然下種更新 施業指標林	S59	6.95	尾上郷	4186ね	ブナ･ミズナラ その他針葉樹 その他広葉樹	15	伐採前に後継樹を発生･生育させることにより、更新を確実に行うための指標になる林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	ブナ地帯 天然更新施業指標林	S51	3.63	原山本谷	3175う,の	ブナ その他広葉樹	29	ブナ地帯における天然更新技術の確立に向けて、収穫から更新に至る技術体系の検証等の指標とする林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	ブナ地帯 天然更新施業指標林	S51	0.19	原山本谷	3175く	ブナ その他広葉樹	22	ブナ地帯における天然更新技術の確立に向けて、収穫から更新に至る技術体系の検証等の指標とする林分である。											
施業指標林	宮･庄川	飛騨	ブナ地帯 天然更新施業指標林	S49	6.78	尾上郷	4184に	カンバ･カエデ ブナ･ホオノキ その他広葉樹	34	ブナ地帯における天然更新技術の確立に向けて、収穫から更新に至る技術体系の検証等の指標とする林分である。											

施業指標林	宮･庄川	飛騨	亜高山地帯 天然更新施業指標林	S50	19.38	千間樽	1179ほ～ぬ 1180ち～る	トウヒ･シラベ コメツガ･カンバ カラマツ その他針葉樹 その他広葉樹	31	亜高山地帯針葉樹林（ササ型林床）における天然更新の確立に向けて、収穫から更新に至る施業の指標とする林分である。												
試験地	宮･庄川	飛騨	福地スギ人工林 収穫試験地	S41	2.56	福地	2201と	スギ	51	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。												
試験地	宮･庄川	飛騨	大谷スギ人工林 収穫試験地	S43	0.53	大谷	3069る	スギ	65	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。												
試験地	宮･庄川	飛騨	一ッ梨ヒノキ人工林 収穫試験地	S42	1.00	一ッ梨	23は	ヒノキ	58	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。												
試験地	宮･庄川	飛騨	一ッ梨カラマツ人工林 収穫試験地	S42	1.49	一ッ梨	23に	カラマツ	58	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。												
試験地	宮･庄川	飛騨	ブナ二次林成長量調査	H3	1.43	原山本谷	3170る 3172れ	ブナ その他広葉樹	188	天然更新したブナ林の成長量を調査し、施業の参考とする。												H14年度
試験地	宮･庄川	飛騨	大日ブナ天然生林 林分成長量固定調査地	S28	1.76	尾上郷	4172と	ブナ･ミズナラ その他広葉樹	216	天然林における成長量、枯損量等の資料を収集し、林分構造の推移を解明する。												H7年度
試験地	宮･庄川	飛騨	大白川ブナ 天然更新試験地	S45	48.05	大白川	4336ろ	ブナ･ミズメ その他広葉樹	49	ブナの天然更新について更新状況の追跡調査を行い施業の参考とする。												H12年度
次代検定林	宮･庄川	飛騨	関名7号（一般）	S52	1.54	マツ谷	15と	カラマツ	37	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H18年度(30)
次代検定林	宮･庄川	飛騨	関名9号（一般）	S52	0.57	今谷	50は	ヒノキ	37	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H18年度(30)
次代検定林	宮･庄川	飛騨	関名21号（地域差）	S56	0.57	折敷地	88り	スギ	33	共通の精英樹を用いることによって同じような生産能力を示す範囲を知り，種苗の合理的な配布区域を定めるための林分である。												H17年度(25)
次代検定林	宮･庄川	飛騨	関名25号（遺伝）	S63	0.53	六厩川	4118る	スギ	26	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。												H19年度(20)
次代検定林	宮･庄川	飛騨	関名19号（一般）	S55	1.08	千間樽	1178た	カラマツ	34	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H21年度(30)
遺伝子 保存林	宮･庄川	飛騨	カラマツ	S46	0.40	上小鳥	3012は	カラマツ	86	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し遺伝子補給源として活用する林分である。												
遺伝子 保存林	宮･庄川	飛騨	スギ	S53	2.00	池本山	3041り	スギ	35	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し遺伝子補給源として活用する林分である。												

遺伝子保存林	宮･庄川	飛騨	スギ	S53	2.40	黒内	3225お	スギ	35	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し遺伝子補給源として活用する林分である。											
遺伝子保存林	宮･庄川	飛騨	ヒノキ	S44	2.00	宮	67か	ヒノキ	44	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し遺伝子補給源として活用する林分である。											
遺伝子保存林	宮･庄川	飛騨	アカマツ	S47	2.02	金山	83は	アカマツ	41	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し遺伝子補給源として活用する林分である。											
遺伝子保存林	宮･庄川	飛騨	カラマツ	S41	2.34	山中山	4139よ	カラマツ	47	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し遺伝子補給源として活用する林分である。											
遺伝子保存林	宮･庄川	飛騨	カラマツ	S42	2.35	山中山	4138り	カラマツ	46	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し遺伝子補給源として活用する林分である。											
遺伝子保存林	宮･庄川	飛騨	スギ	S46	2.00	六厩川	4104む	スギ	42	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し遺伝子補給源として活用する林分である。											
遺伝子保存林	宮･庄川	飛騨	シラカンバ	S39	7.30	胡桃島	1230い	カンバ その他広葉樹	76	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し遺伝子補給源として活用する林分である。											
遺伝子保存林	宮･庄川	飛騨	カラマツ	S46	3.00	鎌ヶ峰	1170ほ	カラマツ	42	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し遺伝子補給源として活用する林分である。											
精英樹保護林	宮･庄川	飛騨	スギ古川1号	S33	0.25	上小鳥	3010へ	スギ	98	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを 保存するための林分である。											
精英樹保護林	宮･庄川	飛騨	スギ古川4号	S41	0.28	向洞	3214る	スギ	110	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを 保存するための林分である。											
精英樹保護林	宮･庄川	飛騨	スギ古川5号	S41	0.27	向洞	3214つ	スギ	110	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを 保存するための林分である。											
精英樹保護林	宮･庄川	飛騨	スギ古川6号	S41	0.20	向洞	3214わ	スギ	110	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを 保存するための林分である。											
巨樹・巨木	宮･庄川	飛騨	平湯の大ネズコ	H12	(0.94)	平湯	2195と内	シラベ･ブナ ネズコヒメコマツ その他針葉樹 その他広葉樹	216	通達「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」により選定された、巨樹・巨木である。 注：()書きは、該当する小班面積											
巨樹・巨木	宮･庄川	飛騨	宮の大イチイ	H12	(8.63)	宮	64ろ内	天然ヒノキ サワラ･ミズナラ その他針葉樹 その他広葉樹	216	通達「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」により選定された、巨樹・巨木である。 注：()書きは、該当する小班面積											
巨樹・巨木	宮･庄川	飛騨	荘川のヒメコマツ	H12	(0.73)	軽岡	4123や内	ヒノキ その他針葉樹 その他広葉樹	108	通達「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」により選定された、巨樹・巨木である。 注：()書きは、該当する小班面積											

巨樹・巨木	宮・庄川	飛騨	荘川のヒノキ	H12	(0.73)	軽岡	4123や内	ヒノキ その他針葉樹 その他広葉樹	108	通達「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」により選定された、巨樹・巨木である。 注：()書きは、該当する小班面積												
森林施業モデル林	宮・庄川	飛騨	水源涵養タイプモデル林	H12	5.73	宮	61り	ケヤキ・ヒノキ その他針葉樹 その他広葉樹	103	公益的機能重視の森林施業の取り組みを国民にわかりやすくアピールするモデル林である。												
施業指標林	飛騨川	岐阜	複層林施業指標林	S59	14.57	落合	18に、か 21か、39ぬ	ヒノキ	117	水土保全等の公益的機能と木材生産機能との調和の発揮等、複層林施業（2段林）の指標になる林分である。	○					○					H22調査
施業指標林	飛騨川	岐阜	複層林施業指標林	S49	1.24	小川長洞	1106へ	ヒノキ・スギ	116	公益的機能の保持と地力の維持を図りつつ、優良材生産を目標とし、併せてスギの耐陰性と生育の検討等、複層林施業の指標となる林分である。					○						H24調査
施業指標林	飛騨川	岐阜	間伐推進施業指標林	S62	0.96	大洞	192へ	ヒノキ	59	市場価値の高い材木を収穫する間伐及び残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術の向上の指標になる林分である。		○			○			○			H23調査
施業指標林	飛騨川	岐阜	間伐推進施業指標林	S61	2.23	七宗	1234い	スギ・ヒノキ	60	市場価値の高い材木を収穫する間伐及び残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術の向上の指標になる林分である。		○			○			○			H23調査
施業指標林	飛騨川	岐阜	ヒノキ人工林 長伐期施業指標林	H24	0.79	落合	96ろ	ヒノキ	63	ヒノキ人工林の長伐期施業における林木成長や林況推移の指標となる林分である。					○						H24調査
施業指標林	飛騨川	岐阜	ヒノキ人工林 長伐期施業指標林	H24	1.01	乗政	1127に	ヒノキ	77	ヒノキ人工林の長伐期施業における林木成長や林況推移の指標となる林分である。 （長伐期施業群のモデルとする）？					○						H24調査
施業指標林	飛騨川	岐阜	スギ人工林 長伐期施業指標林	H24	0.49	七宗	1241ほ	スギ	60	スギ人工林長伐期施業において強度間伐を実施した場合の林木成長や林況推移の指標となる林分である。					○						H24調査
展示林	飛騨川	岐阜	七宗大径材生産展示林	S57	3.23	七宗	1207ち 1211は	スギ・ヒノキ	118	大径材生産の施業林として長期的に存置し、国民各層への森林施業についての広報等に利用する林分である。	○					○					
試験地	飛騨川	岐阜	唐谷ヒノキ人工林 収穫試験地	S36	0.37	落合	125ほ	ヒノキ	60	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。				○							H23年度
試験地	飛騨川	岐阜	御岳トウヒ、シラベ 天然生林林分 成長量固定調査地	S30	4.15	落合	65ほ	サワラ ヒメコマツ・トウヒ コメツガ・シラベ ミズメ・カンバ	214	天然林における成長量、枯損量等の資料を収集し、林分構造の推移を解明する。			○								H7年度
試験地	飛騨川	岐阜	人工林漸伐 実行箇所追跡調査	H3	0.25	大洞	221た	ヒノキ	89	人工林漸伐施業において、伐採後の残存立木の成長量調査を行い、施業の参考とする。											H8年度
試験地	飛騨川	岐阜	赤沼田ヒノキ人工林 成長試験地	S47	2.14	赤沼田	232い	スギ・サワラ ヒノキ その他広葉樹	174	高齢（天保年間植栽）人工林における成長量等の資料を収集し林分構造の推移を解明する。											H24年度
次代検定林	飛騨川	岐阜	関名23号（一般）	S62	1.01	落合	30ね	ヒノキ	27	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。				○							H18年度（20）

次代検定林	飛騨川	岐阜	関名11号（一般）	S52	0.36	落合	31り	スギ	37	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H18年度（30）
次代検定林	飛騨川	岐阜	関名22号（地域差）	S56	0.38	厚谷	1074ち	スギ	33	共通の精英樹を用いることによって同じような生産能力を示す範囲を知り，種苗の合理的な配布区域を定めるための林分である。											H17年度（25）
次代検定林	飛騨川	岐阜	関名2号（一般）	S50	1.00	小川長洞	1106り 1107わ、か	ヒノキ	39	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H16年度(30)
次代検定林	飛騨川	岐阜	関名イ号（試植）	S40	2.26	小川長洞	1114い	スギ	45	有名スギ品種の産地試験。		○									H16年度(40)
次代検定林	飛騨川	岐阜	関名26号（遺伝）	H1	1.00	越原	2177ち	ヒノキ	25	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。						○					H20年度（20）
遺伝子 保存林	飛騨川	岐阜	ヒノキ	S46	2.35	落合	35た	ヒノキ	41	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保保存し遺伝子補給源として活用する林分である。											
遺伝子 保存林	飛騨川	岐阜	ヒノキ	S46	2.60	赤沼田	233に	ヒノキ	40	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保保存し遺伝子補給源として活用する林分である。											
精英樹 保護林	飛騨川	岐阜	ヒノキ小坂1号	S30	0.20	落合	29た	ヒノキ	96	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	飛騨川	岐阜	ヒノキ小坂4号	S36	0.20	落合	39ち	ヒノキ その他広葉樹	117	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	飛騨川	岐阜	スギ岐阜1号	S31	0.25	七宗	1239り	スギ	115	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	飛騨川	岐阜	スギ岐阜2号	S33	0.23	七宗	1239ぬ	スギ	115	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
巨樹・巨木	飛騨川	岐阜	天保の大ヒノキ	H12	2.14	赤沼田	232い	スギ・サワラ ヒノキ その他広葉樹	174	「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」（平成１１年12月20日付け林野業第182号林野庁長官通達）により選定された巨樹・巨木が賦存する林分である。											
森林施業 モデル林	飛騨川	岐阜	水源涵養タイプモデル林	H12	5.06	落合	33れ	ヒノキ	105	公益的機能重視の森林施業の取り組みを国民に分かりやすくアピールするために設定するモデルである。											
施業指標林	木曽川	東濃	木曽ヒノキポドゾル地帯 天然更新施業林	S53	13.13	付知裏木曽	118は	天然ヒノキ その他広葉樹	1・ 168	木曽ヒノキポルゾル地帯（ササ林床）における天然更新の確立に向けて、収穫から更新に至る施業の指針になる林分である。											
施業指標林	木曽川	東濃	前更皆伐天然下種更新 施業指標林	S59	2.20	加子母裏木曽	52ろ	天然ヒノキ サワラ・モミ その他針葉樹 その他広葉樹	210	伐採前に後継樹を発生・生育させることにより、更新を確実に行うための指標となる林分である。											

試験地	木曽川	東濃	阿木恵那ヒノキ人工林 収穫試験地	S37	0.58	阿木恵那	1041る	ヒノキ その他広葉樹	58	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。	○					○					H20年度
試験地	木曽川	東濃	阿木恵那スギ人工林 収穫試験地	S38	0.52	阿木恵那	1041か	スギ その他広葉樹	58	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。		○									H20年度 （H26年度調査で終了となる）
試験地	木曽川	東濃	出ノ小路ヒノキ天然生林 林分成長量固定調査地	S29	3.65	加子母裏木曽	93ろ	天然ヒノキ	210	天然林における成長量、故損量等の資料を収集し、林分構造の推移を解明する					○						H19年度
試験地	木曽川	東濃	東股ヒノキ・サワラ 天然生林林分成長量 固定調査地	S29	4.47	付知裏木曽	119ろ	サワラ 天然ヒノキ	210	天然林における成長量、故損量等の資料を収集し、林分構造の推移を解明する							○				H11年度
次代検定林	木曽川	東濃	関名1号（一般）	S50	0.58	加子母裏木曽	31へ	ヒノキ	39	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											H16年度（30）
次代検定林	木曽川	東濃	関耐寒風名古屋営3号 （抵抗性）	S60	0.23	中津恵那	1006と	スギ・ヒノキ	29	選抜された気象害（雪害，凍害，寒風害）抵抗性候補木について成長及びその他の特性を調査し，遺伝的素質の優劣を検定するための林分である。											－
次代検定林	木曽川	東濃	関長3号（一般）	S39	0.69	湯舟沢	2237は	ヒノキ	50	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。											S58年度（20）
次代検定林	木曽川	東濃	関名32号（集団林）	H20	0.31	上村恵那	1082れ	ヒノキ	6	成長，材質，諸害への抵抗性等について優れた精英樹同士による人工交雑によって得た種子で造成し，第二世代品種を選抜するための林分である。					○					○	H24年度（5）
母樹林	木曽川	東濃	木曽ヒノキ	S48	40.59	加子母裏木曽	88い	サワラ 天然ヒノキ	210	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、樹形･材質が優良な種子を採取する林分である。											
遺伝子 保存林	木曽川	東濃	天ヒノキ	S44	3.65	加子母裏木曽	93ろ	天然ヒノキ	210	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し、遺伝子供給源として活用する林分である。											
遺伝子 保存林	木曽川	東濃	ヒノキ	S44	2.00 0.50	付知裏木曽	143ほ 143る	スギ・ヒノキ ヒノキ	43 43	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し、遺伝子供給源として活用する林分である。											
精英樹 保護林	木曽川	東濃	ヒノキ付知1号	S35	0.27	付知裏木曽	102は	ヒノキ	94	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	木曽川	東濃	スギ中津川1号	S31	0.66	岩村	1099は	ヒノキ	80	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	木曽川	東濃	ヒノキ中津川2号	S31	0.23	岩村	1106は	ヒノキ	107	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	木曽川	東濃	ヒノキ坂下1・2号	S32	0.15	湯舟沢	2206は	ヒノキ	88	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											

精英樹 保護林	木曽川	東濃	ヒノキ坂下3号	S32	0.10	湯舟沢	2206に	ヒノキ	88	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	木曽川	東濃	ヒノキ坂下7号	S32	0.10	湯舟沢	2209ろ	ヒノキ	96	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	木曽川	東濃	ヒノキ坂下8号	S32	0.10	湯舟沢	2209は	ヒノキ	96	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
巨樹・巨木	木曽川	東濃	笠木（ヒノキ）	H12	(0.82) (0.62)	上村恵那	1059む 1060こ内	モミ・ミズメ 天然ヒノキ その他針葉樹 その他広葉樹	130 130	「巨樹・巨木に係わる自主的な保全活動の推進について」（平成１１年12月20日付け林野業第182号林野庁長官通知）により選定された巨樹・巨木が賦存する林分である。 注：()は該当する林小班の面積である。											
巨樹・巨木	木曽川	東濃	神坂大檜（ヒノキ）	H12	(29.38)	湯舟沢	2248い内	コメツガ ヒメコマツ 天然ヒノキ その他針葉樹 その他広葉樹	265	「巨樹・巨木に係わる自主的な保全活動の推進について」（平成１１年12月20日付け林野業第183号林野庁長官通知）により選定された巨樹・巨木が賦存する林分である。 注：()は該当する林小班の面積である。											
森林施業 モデル林	木曽川	東濃	国土保全タイプモデル林	H12	0.54	岩村	1109る	ヒノキ その他広葉樹	106・21	公益的機能重視の林業施業の取り組みを国民にわかりやすくアピールするために設定するモデルである。											
森林施業 モデル林	木曽川	東濃	国土保全タイプモデル林	H15	1.32	川上	2027り	ヒノキ	96・24	公益的機能重視の林業施業の取り組みを国民にわかりやすくアピールするために設定するモデルである。											
次代検定林	尾張西三河	愛知	関名24号（遺伝）	S62	0.76	金沢段戸	1274へ	スギ	27	精英樹及びそれらの人工交配により育成された種苗の各種遺伝的特性を解明するための林分である。											H18年度(20)
遺伝子 保存林	尾張西三河	愛知	スギ	S46	0.75	闇苅	1200わ	スギ	42	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し、遺伝子供給源として活用する林分である。											
遺伝子 保存林	尾張西三河	愛知	スギ	S39	2.35	闇苅	1205ろ	スギ	101	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し、遺伝子供給源として活用する林分である。											
精英樹 保護林	尾張西三河	愛知	スギ岡崎2号	S31	0.25	闇苅	1212わ	スギ	118	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護・保存するための林分である。											
施業指標林	東三河	愛知	間伐推進施業林	S61	3.77	段戸	14ろ	スギ・ヒノキ	61	市場価値の高い材木を収穫する間伐及び残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術の向上の指標になる林分である。											H7年度
試験地	東三河	愛知	田峰段戸スギ人工林 収穫試験地	S44	1.37	段戸	75ろ	スギ	53	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。		○					○				
試験地	東三河	愛知	高齢級人工林ヒノキ 成長試験地	S43	11.18	段戸	75い	スギ・ヒノキ	117	高齢級ヒノキ人工林の成長における間伐の影響を調査する。			○								H7年度
試験地	東三河	愛知	段戸国有林人工林ヒノキ 天然下種更新実験林	H7	11.00	段戸	79い	ヒノキ その他広葉樹	99	ヒノキの天然更新について、更新状況の追跡調査を行い、事業実行上の指針を得る。			○					○			H14年度

試験地	東三河	愛知	裏谷ヒノキ人工林 施業比較試験地	S46	3.43	段戸	48い	ヒノキ	85	相対幹距を間伐の尺度とするための総合的研究に質する。												
試験地	東三河	愛知	鰻沢1号ヒノキ人工林 施業比較試験地	S47	1.52	段戸	70は	スギ･ヒノキ	62	相対幹距を間伐の尺度とするための総合的研究に質する。												
試験地	東三河	愛知	鰻沢2号ヒノキ人工林 施業比較試験地	S47	2.00	段戸	75い	スギ･ヒノキ	117	相対幹距を間伐の尺度とするための総合的研究に質する。												
試験地	東三河	愛知	鰻沢3号ヒノキ人工林 施業比較試験地	S47	1.25	段戸	81と,ち	ヒノキ	94	相対幹距を間伐の尺度とするための総合的研究に質する。												
試験地	東三河	愛知	鰻沢4号ヒノキ人工林 施業比較試験地	S49	1.55	段戸	68り	ヒノキ	70	相対幹距を間伐の尺度とするための総合的研究に資する。												
次代検定林	東三河	愛知	関名14号（一般）	S52	0.31	段戸	121ろ	スギ	37	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H18年度(30)
次代検定林	東三河	愛知	関名15号（一般）	S52	0.34	段戸	121ろ	スギ	37	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H18年度(30)
次代検定林	東三河	愛知	関名17号（一般）	S53	1.92	段戸	20い	ヒノキ	36	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。												H19年度(30)
次代検定林	東三河	愛知	関名18号（地域差）	S54	0.57	段戸	20ろ	スギ	35	共通の精英樹を用いることによって同じような生産能力を示す範囲を知り，種苗の合理的な配布区域を定めるための林分である。												H20年度(30)
次代検定林	東三河	愛知	関名27号（一般）	H2	0.44	段戸	53よ	ヒノキ	24	精英樹のさし木クローン又は実生の苗木を用いて、精英樹の遺伝的生産能力の検定、及び、特性評価を行うための林分である。							○					H21年度(20)
次代検定林	東三河	愛知	関名28号（地域差）	H3	0.58	段戸	54と	スギ	23	共通の精英樹を用いることによって同じような生産能力を示す範囲を知り，種苗の合理的な配布区域を定めるための林分である。												H22年度(20)
次代検定林	東三河	愛知	関名29号（集団林）	H13	1.09	段戸	117ほ	スギ	13	成長，材質，諸害への抵抗性等について優れた精英樹同士による人工交雑によって得た種子で造成し，第二世代品種を選抜するための林分である。			○					○				H22年度(10)
次代検定林	東三河	愛知	関名30号（集団林）	H14	0.33	段戸	90わ	スギ	12	成長，材質，諸害への抵抗性等について優れた精英樹同士による人工交雑によって得た種子で造成し，第二世代品種を選抜するための林分である。				○					○		H23年度(10)
次代検定林	東三河	愛知	関名31号（集団林）	H16	0.37	段戸	26は	ヒノキ	10	成長，材質，諸害への抵抗性等について優れた精英樹同士による人工交雑によって得た種子で造成し，第二世代品種を選抜するための林分である。	○					○					H20年度(5)
次代検定林	東三河	愛知	関名ハ号（試植）	S43	1.50	豊橋	1219に	スラッシュマツ	44	スラッシュマツの特性を調査する。												S53年度(10)

精英樹 保護林	東三河	愛知	スギ新城4号	S37	0.47	甚古山	234ち	スギ	111	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	東三河	愛知	スギ新城6号	S41	0.30	段戸	65ぬ	スギ	99	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	東三河	愛知	スギ新城7号	S41	0.56	段戸	65れ・66へ	スギ	99	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	東三河	愛知	ヒノキ新城1号	S30	0.36	段戸	69に	ヒノキ	120	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	東三河	愛知	ヒノキ新城2号	S30	0.59	段戸	153い	ヒノキ	97	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
精英樹 保護林	東三河	愛知	ヒノキ岡崎1号	S31	0.25	豊橋	1220は	ヒノキ その他広葉樹	99	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。											
森林施業 モデル林	東三河	愛知	水源涵養タイプモデル林	H12	2.00	段戸	65か,よ	スギ・ヒノキ	99	公益的機能重視の林業施業の取り組みを、国民にわかりやすくアピールするために設定するモデル林である。											
次代検定林	東三河	愛知	関名口号（試植）	S40	2.38	豊橋	1226と	外国針葉樹 その他広葉樹	46	テーダマツ・リキダマツの特性を調査する。											H17年度(40)